

第10回対話の場について



- 日時：2022年10月17日（月）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員17名、ファシリテーター6名、神恵内村、経済産業省、北海道庁、NUMO

<対話のテーマ>

① 運営委員会の開催結果報告

- 次回 対話の場のテーマについて
- 対話の場の「公開」について

② これまでの対話の場の振り返り

当日の資料などについては、NUMOのホームページに掲載し、神恵内交流センターで配布しております。より詳しい内容にご関心のある方には、交流センター職員がご説明に伺いますので、以下の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。（電話番号:0135-67-7711）

① 運営委員会の開催結果報告

◆ 次回 対話の場のテーマについて

- 事務局から、運営委員会で検討した次回のテーマについて報告しました。
- 次回は「地域振興」をテーマとし、交付金制度などについて取り上げる予定です。

◆ 対話の場の「公開」について

- 委員からのご質問を踏まえ、対話の場の公開の範囲について議論しました。
- 結果、以下のとおりとすることになりました。

名簿の公表 引き続き、各委員の意思で掲載可否を判断していただく

議論の公開 各委員のご希望を踏まえながら、運営委員会で検討していく

② これまでの対話の場の振り返り

- 運営委員会にて「これまで対話の場をやってきた中で、十分に議論が尽きないうちに、次のテーマに進んでいることはないか？」というご意見をいただきました。
- そこで、今回はテーブル毎に、異なる5つのテーマを話し合っていました。
- テーマはこれまでの対話の場を参考にして、事前に委員皆さまからアンケートを取り選定しました。

5つのテーマ

地層処分の技術的課題

放射線と防護方法

シンポジウム・現地見学会などの対話の場以外の活動

街おこしと交付金

その他 地層処分に関してもやもやしていること



対話の場で紹介されたご質問と回答

<地層処分の技術的課題>

【ご質問】活断層と活断層ではない断層をどうやって見分けるのか？

- 基本的には、地質・地形の観察や物理探査などで調査範囲を設定したうえで、地表から数m程度掘削する（トレンチ調査といいます）などして、岩盤から伸びてくる断層と、それを覆っている若い年代（例えば12万年前）の地層の関係を観察し、断層が若い年代の地層を切っているかどうかで、活断層かそうでないかを見分けます。
- このようにして活断層を避けて、精密調査の調査坑道を掘削しますが、この坑道で断層が見つかった場合も、基本的には地表への延長を追跡して上記のトレンチ調査などにより、活断層かそうでないかを確認します。

<地層処分の技術的課題>

【ご質問】処分場を埋め戻した後はどう管理するのか？

- 処分場の埋め戻しは、規制当局による安全性の審査を受けたうえで、NUMOが実施することになるものと考えています。
- 埋め戻し後の安全性の確認方法（例えばモニタリングなど）は、地域住民などの皆さまと相談して具体的内容を決めていくこととなります。

対話の場で紹介されたご意見

<放射線と防護方法>

放射線や被ばくについて基本的なことを勉強する機会が必要ではないか。

<街おこしと交付金>

交付金は、何かに集中投資することや村民のための施設に使うのが良いのでは。

<街おこしと交付金>

交付金の活用事例を紹介して欲しい。

<シンポジウム・現地見学会などの対話の場以外の活動>

ディベート形式でシンポジウムをやりたい。

<シンポジウム・現地見学会などの対話の場以外の活動>

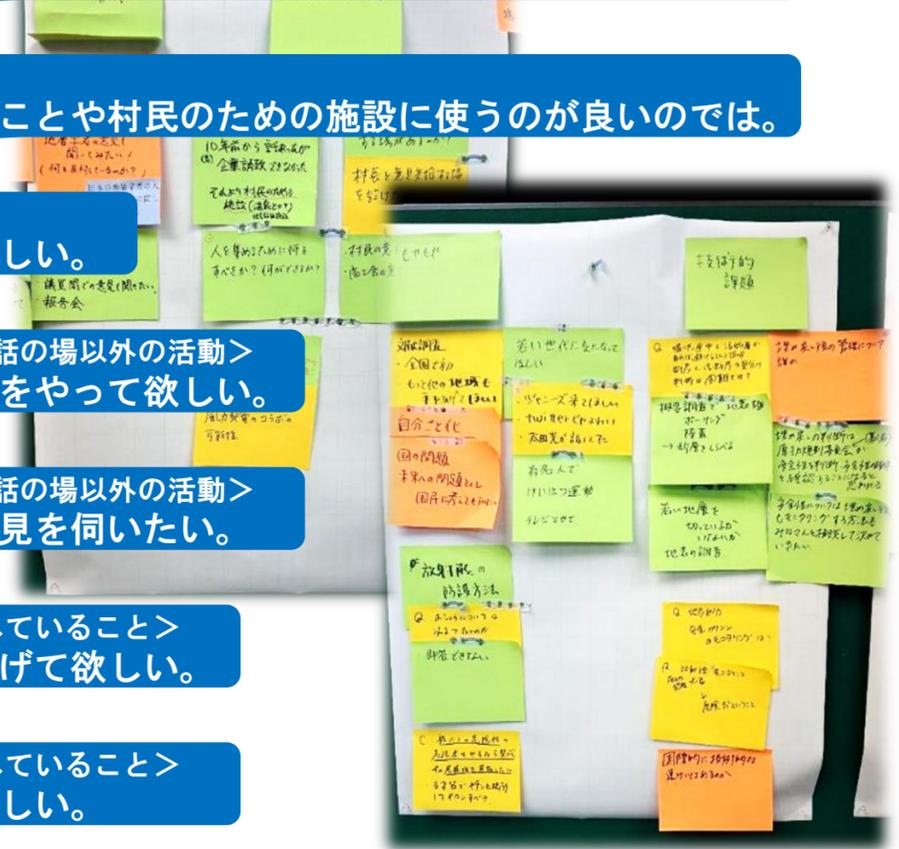
村議会議員に視察してもらい意見を伺いたい。

<その他 地層処分に関してもやもやしていること>

他の地域でも文献調査に手を挙げて欲しい。

<その他 地層処分に関してもやもやしていること>

全国民に自分事として考えて欲しい。



対話の場における配付資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO  <https://www.numo.or.jp/>

